

三共鋼業株式会社

川瀬 英樹 氏

三共鋼業株式会社 代表取締役社長

カーメーカーの喜びは、ユーザーに満足してもらえるクルマをつくること。同じように、私たちの喜びはカーメーカーや各ユニットメーカーなどのお客様に満足してもらうこと。1959年の創業から半世紀、お客様に満足していただく「モノづくり」とは何か、私たちはずっと考えてきました。

たとえば開発から品質保証までのトータルなモノづくり体制を整えたのは、いつも最高品質の製品を責任をもってお届けするため。アメリカに生産拠点を立ち上げたのも、海外に進出したお客様に、日本と同じ最高品質の製品をリアルタイムでお届けするため。総数10万点を超える私たちの製品は、そのすべてに私たちの技術とノウハウ、そして安全と信頼への思いが込められています。自動車は人の生命を乗せて走ります。ですから、自動車部品に求められるのは絶対的安全性と信頼性。それは当然のこと。でもそれと同じくらい、私たちは「美しさ」も大切だと思っています。一人ひとりが安全を実現するための工夫をこらし、信頼を獲得するための思いを込めて作り上げた自動車部品は、実は誰もが見とれるほど美しいものなのです。それはもう「芸術品」と呼びたいほど。

これからも私たちは、お客様に満足してもらうことを考え続けていきます。そしてお客様とともに、本当のモノづくりの喜び、楽しさ、感動を分かち合える企業になりたいと考えています。これから始まる新しい半世紀に向けて。

- 誤品出荷防止・納入遅延防止
- 在庫削減・リードタイム短縮の実現
- 担当者の事務作業削減

■IT導入の背景と目的

それまで稼動していたシステムは、20数年前に導入したオフコンのシステムがベースとなっていました。そのためEXCELなどのOAツールとのデータ連携が容易にできない、紙出力が多い等の問題があり、また得意先・協力会社との情報連携が必須となってきた今日ではインターネット時代に対応したシステム基盤が求められ、更には、多品種・短納期・変更(納期・数量・仕様)要求が増大しているという時代背景もあり、それらに対応&解決すべく、最新のITを活用した新システムへのリニューアルを図るためのプロジェクトをスタートしました。

■IT化の概要

TPS(トヨタ生産方式)を思考のベースとし、ムダの排除、在庫削減、必要なものを必要な量だけ必要な時にジャストインタイムで生産するために「かんばん方式」をシステムの随所で導入しました。しかしながら、生産リードタイムが受注リードタイムより長い場合は納期に間に合わせるために在庫を持たざるを得ないため、今回プロジェクトではPULL(かんばん)生産とPUSH(計画)生産の融合システムとしました。

内示・確定データに基づく一気通貫の仕組みを確立し、工程全体の『見える化』からボトルネック(異常)管理ができる仕組みにしました。これにより内示と確定のブレの把握、遅延情報の把握等も容易になり、また資材調達の精度向上を図る事にもつながりました。システム全体としてはペーパーレス化を目指し、伝票類以外の紙出力は基本的になくしました。さまざまな条件を自由に設定してデータベースを直接検索できるツールが提供された事により管理資料は必要時に必要なだけ自由にEXCEL出力できるようにしました。

主要商品紹介

SANKYO

SANKYO

車体系(シート関連)



車体系(ドア関連)



車体系(サンルーフ関連)



制動系



駆動系



駆動系



8

2011. SANKYO

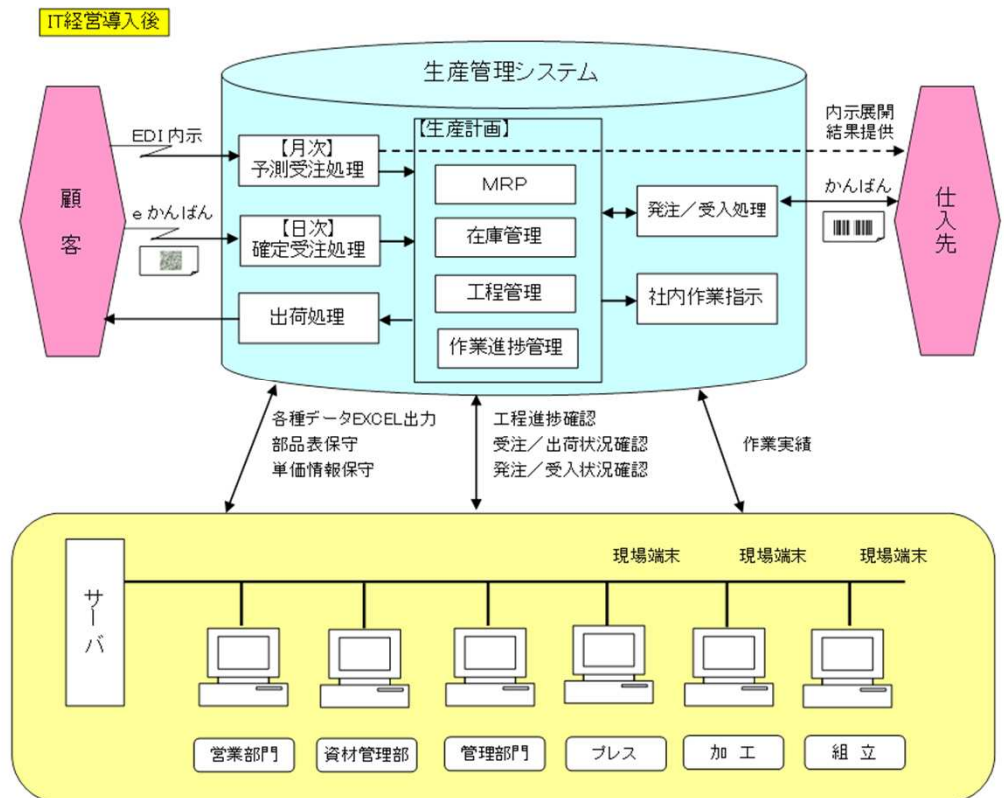
■IT導入の効果

多品種大量のデータを扱っているためITの力はなくてはならないものです。さまざまな事を意識しなくてもきちんと間違えずに処理してくれ、誤品出荷防止・納入遅延防止に大きく貢献してくれているのは言うまでもありませんが、更に在庫削減・リードタイム短縮の実現という成果も得られました。担当者の事務作業削減という点についても、EDIデータの取り込み・データバーコード化による情報の入力作業簡易化等によって効果が得られました。

従来は必要時に手書き或いはその都度EXCEL出力していたようなもの、例えば出荷時の現品票などもあらかじめマスターに条件を設定しておけば必要となる納入先・品番の場合にのみ出荷入力時に自動出力されるなど、ベテラン運用者でなくてもだれでも出来る仕組みとなったため、システム運用の効率化が図れました。また、データベース検索ツールは大いに活用しており、ちょっとした調べもの、取引先からの問合せ、管理資料・統計資料作成のためのデータ採取にと、以前のようにITベンダーにプログラム作成をお願いしなくても自分たちで大抵の事はできるようになり大変便利になりました。

旧システムでは出力帳票への手書き、個人毎でのEXCEL資料管理など、情報連携・情報共有化が図れていなかったのですが、新システムでは情報共有化が可能となり、またより視覚化された情報から適切かつ俊敏な行動を促す『気づき』へと発展する事にもつながりました。

《 システム概念図 》



ITコーディネータから一言

伊藤経営事務所 ITコーディネータ 伊藤実氏

今回のプロジェクトはかなり大きなものとなり、トーテックアメニティ株式会社と地元で自動車部品製造業様向けの生産管理システム構築を得意とするユーテック株式会社の協同開発により実現できました。現場第一主義で、シンプルで使い易いシステムを目指した結果、誤品出荷防止・納入遅延防止や在庫削減・リードタイム短縮の実現をされました。

今後のシステム拡張性も考慮し、現在はスケジューラーの導入準備をするなどまだまだIT利活用を進化発展させるとのことですので、これからも益々IT経営のお役に立てていただけることを期待しております。

会社概要

所在地：〒457-0824 愛知県名古屋市区南区神松町1-7

社名：三共鋼業株式会社 TEL：052-611-5819
 代表者名：川瀬英樹 FAX：052-612-7117
 設立：昭和34年4月 URL：http://www.skjpn.com/
 資本金：1,000万円
 従業員数：290人
 売上高：90億円
 事業内容：自動車部品プレス加工、組付部品の製造

